

No.

スリランカ民主社会主義共和国
建築事情資料集

昭和59年6月

国際協力事業団

120
61
GRB

無償設

84-33

JICA LIBRARY



1026516E3J

国際協力事業団		
受入 月日	'87.1.19	120
登録 No.	15785	61
		GRB

資料-I スリランカの建築事情

1. 一般建設情勢

1) 建設産業の規模

スリランカは、面積約6万5千km²(北海道よりやや小さく、九州よりやや大きい)、インド亜大陸の東南洋上、北緯約6°～10°、東経約80°～82°に浮かぶ人口約1千5百万人の島国である。

1982年のGNPは89,621百万ルピー、GNPは91,643百万ルピーである。GNPのうち、産業別には、およそ農・林・水産業が25%、卸・小売業が20%、製造業とサービス業がそれぞれ14%、運輸・倉庫・通信業が10%となっている。建設産業のGNPに占める割合は、1978年4.6%、1980年5.5%、1981年5.1%、1982年4.8%であり、1982年で約43億ルピー(約430億円)程度の規模のものである。

建設部門の実質成長率は、1978年に28%、1979年に20%と急速に伸びたが、1980年は11%、1981年にはマイナス3%、1982年には2%となっている。これは、早期建設計画に継続的につぎ込まれてきた公共投資が抑制されたことと、建設コストの全般的な上昇に影響されたためである。

同国の1982年における外国貿易は、輸出額21,454百万ルピー、輸入額が41,946百万ルピーで約20,500百万ルピーの輸入超過となっている。

2) 重要プロジェクト

1979年からスタートした投資5ヶ年計画の重点には、(1)マハベリ開発の早期完成プロジェクト(Accelerated Mahaveli Development Programme、1982年から実施に入っている)、(2)都市再開発と住宅計画(Sri Jayawardenapura Capital Development, Central Area Development Programmeなどコロンボ圏の都市再開発が中心)、(3)輸出加工区(Investment Promotion Zones; IPZs)開発の3大プロジェクトがすえられた。この他に(4)地方総合開発(Integrated Rural Development Programme)や(5)1978年から始まった公共住宅計画(The Public Sector Housing Programme)などが、建設関係の主な継続的計画である。これ以外にも、各地域に灌漑プロジェクトなどがあり、これらに要する資金は国内だけではとても賄いきれず、諸外国からの援助で半分近く賄われることが前提になっている。

3) 建築生産の規模

建設生産のうち、建築生産の占める割合は、1978年には70%程度あったが、1982年には、主として上記(1)、(3)、(4)や灌漑プロジェクトなどの影響で50%程度に下った。なお、建築生産のうち最大の部門は、住宅建設である。住宅以外で、公共機関が実施する建築物につい

ては各官庁が別々に実施することもあり、統計が不備で、詳細は不明である。民間の建築建設の状況については、Municipality への建築届などで傾向をつかむことになるが、全般的な統計は無いようである。下表にコロombo市の場合を示す。

Period	New Houses			Commer- cial Buildings	New Industrial Buildings	New School Buildings	Additions & Altera- tions	Other Buildings	Total
	Houses	Flats	Total						
1973	148	26	174	48	10	-	532	-	764
1974	230	12	242	41	6	-	398	-	687
1975	265	20	285	47	11	4	409	-	754
1976	351	23	374	57	4	2	385	-	822
1977	338	37	375	75	-	5	423	-	878
1978	343	75	418	125	46	12	321	7	929
1979	580	212	792	118	101	24	736	5	1,776
1980	271	292	563	67	36	5	456	7	1,134
1981	288	242	530	58	4	5	528	15	1,140
1982	364	225	589	45	10	3	538	60	1,245
1982 January	26	15	41	8	-	1	49	5	104
February	38	24	62	3	1	-	44	14	124
March	37	27	64	7	3	-	60	6	140
April	24	7	31	1	1	-	57	-	90
May	27	10	37	2	1	-	42	3	85
June	30	9	39	4	2	-	51	2	98
July	36	36	72	4	1	-	44	11	132
August	30	18	48	2	-	-	45	2	97
September	30	21	51	2	-	-	38	6	97
October	31	21	52	1	-	1	35	5	94
November	29	21	50	7	1	1	45	2	106
December	26	16	42	4	-	-	28	4	78
1983 January	54	19	73	2	-	-	48	4	127
February	23	12	35	2	-	-	30	3	70
March	40	36	76	-	-	-	53	2	131
April	27	14	41	-	-	-	27	3	71
May	31	8	39	-	-	-	48	5	92
June	33	20	53	-	-	-	40	3	98
July	22	6	28	-	-	-	13	3	44
August	22	11	33	-	-	-	23	2	58
September	28	9	37	-	-	-	28	4	69
October	21	20	41	-	-	-	36	2	79

Source: Colombo Municipality.

* Excludes Government and Corporations building plans.

4) 建設業者・コンサルタント等

スリランカは、民主社会主義の体制をとっており、それゆえと考えられる建設事情が存在する。ここ10数年来、公団、公社等の政府機関が公共事業による大型工事を独占してきたことにより、もともと弱小であった地元の建設業者やコンサルタントが成長できなかったこともその一つである。

公共物の建設は、関係する省 (Ministry) の部局 (Departments / Authorities) や公社 (Corporations) が、企画、設計から資材、機器の調達、さらには工事の施工を直営で行うこ

とが多い。したがって、これら公社等はある程度の機械力を備えており、技術者もいて大型工事の施工も可能であるが、民間の工事には参加しない。一方、民間の業者は、公共工事も含めて、建築工事ではかなりの大型工事をも行う場合もあるが、機械力も乏しく、人力に頼る非常に非能率的な施工を行っている。

1971年、公営公社として、大規模建設工事を実施する State Development and Construction Corporation (SDCC : Ministry of Lands and Land Development の管轄) が設立されるまでは、公共大型工事の業者決定は国際入札によって行われ、外国企業が活躍していた。SDCC の設立や、諸官庁の公社等の直営などで公共工事が行われはじめると、財政規模の小さいためもあるが、外国企業の工事参加機会が失われ、さらに民間企業の国有化政策によって、民間工事もあり望めない状況となり、地元業者でさえ十分な受注ができない状態が続いたため、機器の老朽化、技術力の低下を招いた。1978年～1980年の建設ブームの時期に地元業者の対応ができず、公社、建設業者の力では需要の1/4～1/5しか対応できなかった状態になったのも、上記のような事情が大きい原因となっている。この建設ブームは、1980年～1981年に沈静化してきているが、マハベリ計画を中心に諸外国の援助が続いており、大規模計画では、援助国を中心として、近代的な技術や、特殊機械を有する諸外国勢が続々と進出しているのが現実である。

これに対して、公営公社や地元業者、とくに民間業者は機械力の不足、経験ある技術者の不足、熟練労働者の不足、資金力の不足といった不足だらけの状態からどうやって抜けだすか努力している段階にある。現段階では、多くの業者が労務者を提供するだけの下請業者の状態にあるという。こういった状況の中で、一部の公社、業者は外資と提携したり、コンソーシアムを組むなどして体質の強化を図ったりして、大型工事への対応ができるような体制を作るための努力をしている。

コンサルタントについても、建設業者と事情は似ている。公共工事に関しては、ほとんど政府関係機関の職員である技術者や建築家が、調査や設計を行っており、マハベリ計画等をはじめとする大規模工事では、援助国や世銀などが選任する外国コンサルタントの手で調査、設計が行われる例が一般的である。地元にも、公社、民間とも、調査、設計に関するコンサルティングやエンジニアリングの機関、企業は、いくつかあるが、新しい技術を要求されるもの、新しい機械力を駆使する必要があるものについては、知識、経験とも不足のため、外国のコンサルタントの協力がどうしても必要となる。

スリランカには、建築家の組織として Sir Lanka Institute of Architects (SLIA) が、技術者の組織として Sir Lanka Institute of Engineers (SLIE) がある。SLIE のメンバーの中に Licenced Surveyors and Levellers がいて、毎年 Surveying の Licence をとって仕事

をしている。1984年当初におけるSLIAのメンバーの数は、Fellowsが28名、Associatesが84名、Registered Membersが27名、Student Membersが14名となっている。

次に、建設活動に関わりの深い主な政府機関を掲げる。

Ministry of Lands and Land
Development

Survey Department
State Timber Corporation
State Development and Construction Corp.

Ministry of Local Government,
Housing and Construction

Department of Building
Department of National Housing
Building Materials Corp.
Building Materials Manufacturing Corp.
State Engineering Corp. of Sri Lanka
National Water Supply and Drainage Board
Urban Development Authority
National Housing Development Authority

Ministry of Industries and
Scientific Affairs

Ceylon Steel Corp.
Ceylon State Hardware Corp.
Ceylon Plywood Corp.
Ceylon Ceramics Corp.
Ceylon Cement Corp.

Ministry of Power and Highways

Ceylon Electricity Board

5) 労働者

失業者は120万人を超えるともいわれているが、このほとんどが未熟練者であり、優秀な労働力は不足している。建設工事に関係する多数の技術者や技能工が外国に出稼ぎに行っていることもあり、建築業界でも中堅技術者や熟練工の不足は深刻な問題となっている。したがって、とても熟練工といえないような労働者が熟練工としての給料を取っていたりする。また、シンハラ族とタミール族との言語、宗教等の違いによる反目も根強くあって、同じ職場で働かせる問題を起こすことがあるようである。

6) 建設コスト

建設コストは、1978年から1980年にかけて急激に上昇したが、そのあと1981年から1982年にかけて、緩くなってきている。これは、建設活動の度合が減少したことにより、需要が減ったことによると思われる。建材及び建設工事の近年におけるコスト指数の動きを下表に示す。

Cost - Indices for Selected Building Materials and Different Construction Activities (1969=100)

Item	1978	1979	1980	1981	1982	
					1st half	2nd half
1. Cement	199	292	636	723	821	806
2. Steel (MS Bars)	274	458	504	572	573	573
3. Bricks (Hard Moulded)	268	285	393	388	428	456
4. Asbestos Sheets (corrugated)	327	411	607	627	697	715
5. Timber (Sawn)	217	378	634	814	814	814
6. Metal (3")	338	533	617	551	540	573
7. P. V. C. Pipes (1")	362	459	520	520	520	520
8. Housing Construction	252	347	519	617	639	652
9. Non-Residential Buildings	254	320	463	548	580	591
10. Other Construction Works	220	278	386	457	485	501
11. All Construction Activities	248	327	469	558	586	599

Source: Ministry of Local Government, Housing and Construction

スリランカ国内における建築工事比は、日本のそれと比較して、非常に安いといえる。3階以下の建物であれば、建物の種類にもよるが1㎡当たり、3万5千円から5万5千円程度とのことである。ただし、単純な比較は出来ない。地震のないことが、構造躯体のコストに非常に有利なことは明白であるが、工事費の安い最大の原因は、建物が単純なことで、工事のレベルが低いことにある。国情から言って致しかたのないことであるが、色々な建築を見ても最小限の材料を使って最低のコストで作るということを第一にしているようである。例えば、学校などを見てもガラス窓が無く、鉄の網を張ってあるだけ、天井も屋根裏がそのまま見えるといった建物が多い。施工程度が低いということは、労務費が安くつくということでもある。レベルの高い建物を造るためには、多少なりとも熟練した技能工を集めて、通常以上の労力をかけることや、材料・機材の多くを輸入品に求めて、質の高さを獲得する必要がある。その場合は、一般の工事費に比較してはるかに工事費が高くなることが予想される。

2. 建築事情

1) 建築工法・材料等

一般の建築では、基礎、柱、梁、床スラブ等の主要構造部を鉄筋コンクリート造で構成し、壁はれんが積み、屋根は勾配をつけるために木造(大規模なものは鉄骨造)の小屋組をし、波

形石綿スレート板もしくは赤味を帯びた粘土瓦で葺いている。小規模建築では基礎や壁に石積みを用いたものも見られる。住宅は、れんが組積造が一般的である。ただし、屋根は木造の小屋組で粘土瓦を葺いている。地震がないため部材も細く接合部も簡単で、日本の標準から見ると非常に貧弱に感じられる。

実際の工事は、未熟練労働者を中心とした人力で行われており、工法、品質管理、工程管理など全般的にレベルの低さが目立つ。機械力の不足、熟練労働者の不足、材料供給が不安定なことから、施工速度も遅く、一般に当初の工期予定通り完成されるものは稀れとされている。例えば、コンクリート打設の際は、かなり大規模の建築現場でもボールもしくは鍋のような容器にコンクリートを入れて、人から人への手渡しリレーで行っている。

セメント：セメントは、Ceylon Cement Corporationが管轄し、国内にも3工場あるが、日本からも輸入している。近く三井物産が参画したプラントが稼動するとのことである。

鉄筋：鉄筋は、Ceylon Steel Corporationで、棒鋼及びワイヤーを生産している他、インド、台湾等から輸入している。ただし、現地で入手できる鉄筋は、加工性が非常に悪いとのことである。

骨材：細骨材は、河川が多いこともあり川砂を使用している。粗骨材は、花こう岩砕石が主体で、原石は良質である。

コンクリート：容積調合が一般的であり、ほとんどの現場では、小さなミキサーを据えて現場練りをしているが、最近、コロンボではレミコン工場ができて利用されるようになってきている。

れんが：現地で生産している。サイズは、225 x 100 x 65/60, 218 x 105 x 64, 202 x 98 x 57など色々ある。1級品、2級品の等級もあるが、一般に使われているものは、硬質焼成がなく、質は良くない。

木材：熱帯性の堅い木が多く、家具や高級な建具などには適材が多いが、大断面や長い部材がとりにくく（地元産では12～15フィートが限度）、加工性が悪いため建築用としては不適なものがほとんどである。木材総生産の40%が燃料として使われるとのことであるが、最近の開発で森林面積も減少しているといわれる。コロンボなどでは、森林地帯（主としてドライゾーンと呼ばれる乾燥地帯にあり、ウェットゾーンと呼ばれる湿潤地帯の中の山岳地は、茶やゴムなど重要産物のための植栽が主体になっている）から遠いこともあり、供給が不安定とのことである。State Timber Corporationでは、マレーシアなどから角材用にKenpas（樹木名）等の輸入も行っている。また、壁用のパネルやフローリングパケットなどを生産している。

合 板：Ceylon Plywood Corporation で生産しているが、シンガポール、マレーシアなどから輸入もしている。厚物はない。

形 鋼：Ceylon Steel Corporation で生産しているが、種類も少なく、台湾からも輸入している。

2) 建築法規・基準等

建築法規には、Urban Development Authority Law No. 41 of 1978に基づいて、1983年に制定されたUDA Planning and Building Regulations-1983がある。この原則は、制定されたばかりであり、完全な実施体制に入っている状態ではないようである。内容的には、大別すると1) 建物の種別を、規模及び住宅か非住宅かで分類、それによる計画の届出、認可等についての規定、2) 都市計画的な規定（土地、道路との関係、景観等）、3) 個々の建物の計画及び技術的規定・基準（室の寸法、天井高さ、採光・換気、材料、工法、排水、防火等）からなっている。特殊な建築や高度な内容の建築技術を伴う建築及び建築設備については具体的な記述はなく、ほとんどが当局が認める基準や標準に従ったものとか、当局が認めるやり方に従ってというような記述になっている。なお、防火関係については、MunicipalityのChief Officer of Fire Brigadeが最終的に掌握しているようである。

材料や技術的基準・標準は、旧宗主国のBritish Standards (BS) や、これに基づくCodes of Practice (BSCP) を用いている。一部、材料などの基準にBSに準じているCeylon Standards (CS) と呼ばれるものがBSと併用されている。現在でも、インチサイズなどを実際の設計に使用している一方Newtonなどの単位も使っている。例えば、鉄筋コンクリートの構造計算はBSCP 110に従っており、コンクリートのテストピース(150 mm cube)の所要強度は 20 N/mm^2 としている。一方、設計用の風荷重はBSCP 3によっており、設計用風速を75 miles/hourとしているなど単位系の混乱が見られる。

ただし、上記規則においても、BSと規定している記述はなく、基本的には権威のある建築家、技術者が責任をもって設計等を行えば受け入れられるということであろう。諸外国や世銀などの援助計画では、援助国もしくは世銀等が選任したコンサルタントの選定した基準、標準を用いているのが普通のようなものである。

3) 土地の価格

スリランカでは、他の開発発展途上国にみられるような、激しい都市圏への人口集中は起こっていないが、都市地域における土地価格はかなり上昇している。

コロombo市内の住宅用土地の値段は、1パーチ(Perch: 約 25.3 m^2)当たり、75,000～100,000ルピー(約75万円～100万円)位とのことである。

建築材料及び工事価格

次のリストは、Sri Lanka Rupavahini Corporation (SLRC) が建築中(1984年3月現在)の新事務棟(2階建, 42 feet × 256 feet, 面積約 21,500 sq.ft, 将来3階建)の工事に用いた単価を中心に、調査団の質問書に記入する方法でSLRCのCIVIL ENGINEERING UNITの技術者がまとめたもので、Department of Buildings, Ministry of Local Government, Housing and Constructionの基準によっている。実際の市場価格は、多少の幅があると思われる。

(1) 材料単価

〔注〕：1 Rupee = 約10円
(1984.2)

Materials/products	Unit prices	
a. Cement	2,400	Rs/ton
b. Steel reinforcing (Round bars);		
1/2" to 1-1/2" in dia.	10,000	Rs/ton
1/4" to 3/8" in dia.	12,000	Rs/ton
c. Steel reinforcing (Deformed bars);		
1/2" to 3/2" in dia.	13,000	Rs/ton
1/4" to 1-1/8" in dia.	14,000	Rs/ton
d. Ready mixed concrete	1,600	Rs/cu.m.
e. Job-mixed concrete	1,450	Rs/cu.m.
f. Rolled steel shapes (Angles);		
L- x x mm	14,000	Rs/ton
Rolled steel shapes (Channels)		
[- x x mm	15,000	Rs/ton
g. Concrete blocks		
16 x 4 x 8 inch	5	Rs/each
h. Bricks		
x x inch	3.5 ~ 4	Rs/each
i. Plywood board;		
1/4 inch thick	38	Rs/sq.m

j.	Wall tiles (Porcelain)			
	100 x 100 x 5 mm	175	Rs/sq.m	
k.	Ceramic mosaic tiles;			
	x x mm	300	Rs/sq.m	
l.	Vinyl asbestos tiles;			
	mm thick	300	Rs/sq.m	
m.	Glass sheets;			
	3 mm thick	120	Rs/sq.m	
	4 mm thick	150	Rs/sq.m	
	5 mm thick	180	Rs/sq.m	
n.	Emulsion paint;			
	(Synthetic resin type for interior use)	20	Rs/sq.m	
o.	Emulsion paint;			
	(Synthetic resin type for exterior use)	20	Rs/sq.m	
p.	Ready mixed paint;			
	(Vinyl resin, long oil type)	20	Rs/sq.m	
q.	Asbestos cement board	16	Rs/sq.m	
r.	Aluminium window and frame;	250	Rs/sq.ft.	
s.	Steel door and frame;	300	Rs/sq.ft.	
	with a lock, a closer, hinges, a stop			
t.	Wood flush door and frame;	175	Rs/sq.ft.	
	with a lock, a closer, hinges, a stop			
u.	Wood window and frame;			
	with hardwares	100	Rs/sq.ft.	
v.	Roof clay tiles			
	9" x 13 $\frac{1}{2}$ " x	48.5	Rs/sq.m	
		3.5	Rs/piece	

w.	Bituminous membrane water proofing on roof	50	Rs/sq.m	not available
x.	Conduit pipes for wiring	1/2" ϕ 6.5	Rs/m.	
		3/4" ϕ 8.5	Rs/m.	
y.	Fluorescent lighting fitting, 40W x 2	360	Rs/set	
		450	Rs/set	Industrial type

(2) 工事単価

〔注〕：材工共の単価である。現地の一般的な施工レベルで考えているため、労務費は、低い。()内は、材料費を除いた単価。

Work	Unit price/Cost		
a. Excavating for foundations	40	(40)	Rs/ cu.m
b. Forms for concrete	150	(38)	Rs/ sq.m
c. Concrete pouring	1,500	(250)	Rs/ cu.m
d. Concrete pouring including forms	1,800	(400)	Rs/ cu.m
e. Steel bar reinforcing for concrete work	15,000	(2,800)	Rs/ ton
f. Brick masonry - walls	450	(100)	Rs/ cu.m
g. Tile laying on;			
walls, glazed	270	(80)	Rs/ sq.m
floors, vinyl	300	(20)	Rs/ sq.m
h. Plastering applied on;			
(cement and sand plaster)			
walls	38	(26)	Rs/ sq.m
floors	50	(25)	Rs/ sq.m
ceiling	50	(35)	Rs/ sq.m
(gypsum plaster)			
walls	36	(25)	Rs/ sq.m
ceiling	47	(35)	Rs/ sq.m
i. Metal roofing			
(Corrugated galvanized iron sheet)	300	(46)	Rs/ sq.m
j. Clay tile roofing set on corrugated asbestos cement sheets, including sheets	450	(55)	Rs/ sq.m
k. Corrugated asbestos cement sheet roofing	300	(40)	Rs/ sq.m
l. Bituminous membrane waterproofing for roof	650	(50)	Rs/ sq.m
		(not available)	
m. Steel work			
fabrication	1820,000	(3,500)	Rs/ ton
erection at site (labour only)	3,000	(3,000)	Rs/ ton
n. Bituminous pavement for car parking including base course & materials	130	(40)	Rs/ sq.m

人件費(単価)

1983年公共関連。民間の技術者や技能工は、これより上回る模様である。

Prices/Fees of Engineers, Technicians and Labourers

a. Engineers

1st class :	25 Rs/hour,	200 Rs/day,
2nd class :	20 Rs/hour,	160 Rs/day,

b. Technicians

1st class :	15 Rs/hour,	120 Rs/day,
2nd class :	12 Rs/hour,	96 Rs/day,

c. Skilled labourers

Electrician :	9.25 Rs/hour,	74 Rs/day,
Plumber :	9.25 Rs/hour,	74 Rs/day,
Concretor :	9.25 Rs/hour,	74 Rs/day,
Brick layer :	9.25 Rs/hour,	74 Rs/day,

d. Foreman 12 Rs/hour, 96 Rs/day,

e. Unskilled labourers 5 Rs/hour, 40 Rs/day,

f. Clerk 1,500 Rs/month

g. Typist 1,500 Rs/month

h. Driver 1,000 Rs/month

i. Cook 750 Rs/month with meals

j. House maid 300 Rs/month with meals

水道、電気及びプロパンガスの料金

[注] : 1 Rupee = 100 cents = 約10円

1. 水道 政府機関 : 5.5 Rs / 1,000 litres
家庭用 : 0.2 Rs / 1,000 litres, 最初の 10,000 litres
1.0 Rs / 1,000 litres, 次の 10,000 litres
3.0 Rs / 1,000 litres, 次の 10,000 litres
5.0 Rs / 1,000 litres, 次の 10,000 litres
2. 電気 約 1 Rs / KWH ; 業務用
3. プロパンガス 120 Rs / Cylinder (約13kg)

資料- II スリランカの主要経済社会指標

(SRILANKA SOCIO-ECONOMIC DATA 1983, Statistics
Department, Central Bank of Ceylon より)

1. GNP (実質成長率)

GROSS NATIONAL PRODUCT AT CURRENT FACTOR COST PRICES

	Unit	1980	1981	1982*
Agriculture, Forestry and Fishing ..	Rs. Mn.	17,151	21,977	25,157
Mining & Quarrying ..	"	1,249	1,514	1,734
Manufacturing ..	"	11,048	12,883	14,134
Construction ..	"	5,552	7,001	7,959
Electricity, Gas, Water & Sanitary Services ..	"	601	808	1,244
Transport, Storage and Communication ..	"	5,293	7,307	8,536
Wholesale & Retail Trade ..	"	10,898	14,197	16,059
Banking, Insurance and Real Estate ..	"	1,785	2,463	3,192
Ownership of Dwellings ..	"	1,457	1,768	2,052
Public Administration and Defence ..	"	1,965	2,350	2,878
Services N.E.S. ..	"	5,247	7,069	8,698
Gross Domestic Product ..	"	62,246	79,337	91,643
Net Factor Income from Abroad ..	"	-432	-1,712	-1,969
Gross National Product ..	"	61,814	77,625	89,674
Growth Rate ..	Percent	24.8	25.6	15.5
GNP Per Capita at Current Factor Cost Prices ..	Rs.	4,194	5,179	5,904

* Provisional.

2. 国庫歳出入

GOVERNMENT FINANCE

	Unit/Rate Base	1980	1981	1982
Revenue ..	Rs. Mn.	14,068	16,228	17,809
Direct Taxes ..	"	2,086	2,029	2,923
Indirect Taxes ..	"	10,372	12,106	12,433
Non-Tax Revenue ..	"	1,610	2,093	2,453
Expenditure ..	"	30,343	31,094	38,097
Current ..	"	13,249	16,005	20,113
Capital ..	"	13,854	13,373	18,867
Advance Accounts & Other ..	"	- 3,240	- 1,716	- 883
Net Cash Surplus/Deficit ..	"	-14,772	-13,258	-17,676
Public Debt (a) ..	"	46,779	58,659	71,250
Domestic ..	"	24,502	29,487	36,653
Foreign ..	"	22,277	29,172	34,597

(a) Net figure.

3. 主要農產物生產高

AGRICULTURAL PRODUCTION BY MAJOR CROPS

	Unit	1980	1981	1982
Quantity				
Paddy	M/Tens '000	2,133	2,210	2,157
Tea	Mn. Kgs.	191	210	188
Rubber	Mn. Kgs.	133	124	125
Coconut	Mn. Nuts	2,026	2,258	2,510
Value				
Paddy	Rs. Mn.	5,138	7,071	7,289
Tea	Rs. Mn.	3,508	3,803	4,400
Rubber	Rs. Mn.	1,260	1,182	1,261
Coconut	Rs. Mn.	2,533	3,321	3,292

4. 主要工業生產高

INDUSTRIAL PRODUCTION BY MAJOR PRODUCTS

	Unit	1980	1981	1982
Value of Production ..	Rs. Mn.	18,311	23,010	25,904
Food, Beverages & Tobacco ..	Rs. Mn.	3,899	4,496	5,246
Textile & Leather ..	Rs. Mn.	1,923	3,040	3,863
Wood & Wood Products ..	Rs. Mn.	289	315	361
Paper & Paper Products ..	Rs. Mn.	476	626	725
Chemical & Chemical Products* ..	Rs. Mn.	9,416	12,015	13,099
Non Metallic Mineral Products ..	Rs. Mn.	1,156	1,250	1,370
Basic Metal Products ..	Rs. Mn.	478	428	262
Fabricated Metal Products; Machinery and Transport Equipment ..	Rs. Mn.	620	782	904
Manufactured Products N.E.S. ..	Rs. Mn.	54	58	74

*Includes Petroleum.

5. 外国貿易高 — 輸入

EXTERNAL TRADE — IMPORTS

	Unit/Rate	1980	1981	1982
Value of Imports (c. i. f.) ..	Rs. Mn.	33,942	36,582	41,946
Consumer Goods ..	Rs. Mn.	10,158	9,219	8,601
Rice ..	Rs. Mn.	882	992	925
Flour ..	Rs. Mn.	1,825	28	62
Sugar (a) ..	Rs. Mn.	2,026	2,826	955
Other ..	Rs. Mn.	5,425	5,373	6,659
Intermediate Goods ..	Rs. Mn.	15,522	19,275	21,640
Investment Goods ..	Rs. Mn.	8,144	7,956	11,591
Fertilizer ..	Rs. Mn.	1,339	1,202	560
Petroleum ..	Rs. Mn.	8,090	9,958	12,274
Import Volume Index ..	1978=100	140	145	148
Import Price Index ..	1978=100	217	282	309

(a) Refined and other

6. 外国貿易高 — 輸出

EXTERNAL TRADE — EXPORTS

	Unit/Rate	1980	1981	1982
Value of Exports (f.o.b) ..	Rs. Mn.	17,595	21,043	21,454
Agricultural Exports ..	Rs. Mn.	10,873	12,170	11,806
Tea ..	Rs. Mn.	6,170	6,444	6,342
Rubber ..	Rs. Mn.	2,590	2,889	2,323
Coconut ..	Rs. Mn.	1,234	1,438	1,496
Minor Agricultural Products ..	Rs. Mn.	879	1,399	1,645
Industrial Exports ..	Rs. Mn.	5,814	7,296	8,271
Textile & Garments ..	Rs. Mn.	1,826	3,021	3,502
Petroleum Products ..	Rs. Mn.	3,123	3,375	3,280
Other Industrial Products ..	Rs. Mn.	865	900	1,489
Mineral Exports ..	Rs. Mn.	805	792	859
Gems ..	Rs. Mn.	664	633	685
Other ..	Rs. Mn.	141	159	174
Export Volume Index ..	1978=100	99	102	112
Export Price Index ..	1978=100	126	129	119
Terms of Trade ..	1978=100	58	46	38
Balance of Trade ..	Rs. Mn.	-16,347	-15,539	-20,492

JICA